

日刊木材新聞

発行所 日刊木材新聞社
〒135-0041 東京都江東区冬木234
編集・営業 ☎03-3820-3500
FAX03-3820-3519
総務・販売 ☎03-3820-3511
FAX03-3820-3518

https://jfpj.jp/
eメール info@jfpj.co.jp
購読料 1ヵ月 6,750円
©日刊木材新聞社 2025
本紙の無断複製(コピー・PDF)配布は、著作権の侵害にあたり違法です。



木材建材ウィクリー
Japan Lumber Reports
電子版

社有林の多面的活用に取り出す

Jークレジット、主伐、フォレントタほか

吉本

吉本(長野県南佐久郡、由井正宏社長)は、全国で合計6000haを超える社有林の多面的な活用に取り出す。長野、群馬の2県で今年、Jークレジットの認証を申請するほか、先行する群馬、岩手に続き、長野県でも皆伐、再造林に着手する。同県ではフランチャイズ加盟により、森林レンタル事業も始める。社有林の価値を最大限に引き出し、企業価値の向上と事業の拡大を目指す。

Jークレジットの認証申請を予定しているのは、長野400ha、群馬600haの合計1000haで、バイウィル(東京都)に事務委託し、3月までにプロジェクト登録、年内の申請、取得を目指している。

長野県では主伐、再造林にも着手する。今年から毎年4〜5haずつ進めていく。「八ヶ岳社有林は笹地が多く、更新が難しいと見ていたが、高性能



同社最大の面積を持つ群馬県上野村の社有林

ま手を付けられずにいた。長野県では合板用丸太の需要拡大、材価の上昇、県の再造林補助制度の充実などで循環利用できる環境が整ってきたことから、森林経営計画を策定して

造作用集成材も
JAS製品で

TSC株式会社 ティ・エス・シー
〒292-0838 千葉県木更津市潮浜2-1-53
TEL/0438-37-0206 FAX/0438-37-2349
ホームページ http://www.syusel-tsc.com

林は主伐、再造林を進めるには必ずしも条件が良くなく、当社の技術力が問われるが、公共事業などで培った技術を生かしてチャレンジしたい。当社だけではできない分野については、専門的なパートナーの力を借りながら価値の向上を図りたい」と話す。

ストで大臣認定取得

最大35mスパン対応

ノウッド

エンウッド(En. Wood、東京都、岩脇徳幸社長)は、同社が取り扱うローズバーク・フォレスト・プロダクツ・カンパニー(米国オレゴン州)製の木製I型ジョイントが2024年11月に国土交通省から37条認定を受けたことを発表した。エンウッドは木製I型ジョイント、LVLなどの各種エンジニアードウッドや木造建築施設的设计補助を手掛けている。岩脇社長は「今回認定を取得したI型ジョイントとLVLの共用で、最大35mスパンまでの対応が可能となる。今後は当社の木製I型ジョイントの認知を広げ、木造大スパンを容易にしていきたい」と話す。

認定を受けた木製I型ジョイントは、ローエプがOSBとなつて製I型ジョイントのサ

岩脇社長は「当社はローズバークのLVLを使用する必要がないことからコスト軽減が見込めるほか、ロングスパンを必要とする箇所にも有効だ。既存サイスで実績のある介護施設、幼稚園、商業施設に加え、畜舎などの畜産分野への提案も進めている。

JAS認定工場
国産材杉・枕木ポツポ
佐々木木材防腐株式会社
群馬県前橋市下大島町577の2
TEL027(266)1324

- 主な記事
- ▽2面 新春インタビュー 徳田正則大建築業社長
 - ▽3面 米材商況(丸太・国内挽き) 電量停電も価格高騰懸念
 - ▽4面 東北高況 春先に向けて動く
 - ▽5面 TPOのフレンドリーなタープライズ
 - ▽6面 木住協 表彰式
 - ▽7面 茨城木材相互市場 入荷削減、県内木材も丸太不足